

とねりこ 86

知的障害者施設 いみず苑広報誌

想いを紡ぐ
心を繋ぐ



4年ぶりの通常開催！ 第27回いみず苑祭



発行

社会福祉法人 射水福祉会 いみず苑・いみず苑保護者会

〒933-0252 富山県射水市七美727 TEL 0766-86-1126 FAX 0766-86-1136 <http://www.imizuen.jp/>

「とねりこ」 かつて射水平野の水田の畦道に植えられていたこの木は、湿地を好み強い風にも倒れないことから、刈り取った稲を干す稲架（はさぎ）に利用されていました。

第27回 いみず苑祭

地域の皆さまやボランティア
 様々な団体による楽し
 かけ中やうどん、カステ

ステージ



富山県立小杉高等学校

想いを紡ぐ演奏は、観客席に感動を与えました。



射水市立七美幼稚園

元気いっぱい！七美チアーズ「私は最強!!」



しゃんしゃん 香香ミュージック

古き良き時代のメロディに酔いしれて



DANCE STUDIO DEEP

華麗なるダンスパフォーマンス！
 会場参加型のステージでボルテージは最高潮に♪

模擬店・展示コーナー



模擬店

- どんどん焼き 射水商工会議所青年部
- フランクフルト・たいやき・たこやき
 鶏のから揚げ・ハッシュドポテト
- かけ中・きつねうどん
 射水青年会議所、七美ボランティア協議会
- さつまいも 新湊中央ロータリークラブ
- ジュース等 ● 喫茶コーナー
- 「ちびっこコーナー」駄菓子販売、
 くじ引きコーナー！



展示コーナー

いみず苑の歴史や活動の様子をパネルで紹介。

ティアのご協力を頂き、4年ぶりに盛大に開催いたしました！
 く、華々しいステージ発表があり、会場は大勢の人で賑わいました。模擬店ではどんどん焼きや唐揚げ、
 うなどを販売しました。沢山の笑顔と活気あふれる触れ合い交流を紡ぐ場となりました。

いみず苑版「スター誕生☆」 ~オンリーワンの力が光り輝く~

「いみず苑の皆さん一人ひとりがかっこよく輝いてほしい。」そんな思いからこの企画が始まりました。苑内に幅広く公募したところ、たくさんの方に参加いただき、たくさんのスターが誕生しました。明日のスター☆はあなたかもしれません！

名司会！
のみなさん



いみず苑バンドが織りなす
迫力あるステージ



太鼓と笛に合わせて、祭囃子が響きます！



イヤサー、
イヤサー！

モノマネコーナー！



モダンバレエを披露！



独特の世界観を
紡ぎ出す



心を合わせて
美しいハーモニーが
響きわたる



琴に合わせて、
「さんぼ」を歌いました



キーボードの演奏に合わせて大熱唱！
「♪おどるポンポコリン」



フィナーレはヤングマンを皆で歌って踊って！
会場全体が盛り上がり、心ひとつに！

いみず苑
♡LOVE

止まらない
Ha~Ha♪



「矢沢永吉(?)が会場を盛り上げてくれました！」



ご協力ならびにご芳志、
ありがとうございました。

- 七美連合自治会
- 射水市手をつなぐ育成会
- 株式会社 四方組
- 株式会社 フジノ電設工業
- 分家静男

- 七美社会福祉協議会
- 堺進
- 株式会社 英光商事
- 亀谷美智子
- クレハ事務機販売株式会社

- 新湊中央ロータリークラブ
 - 株式会社 セイアグリーシステム
 - 射水市立射北中学校
 - 射水市長
 - 香香ミュージック
- (順不同・敬称略)



秋風に誘われて

～日帰り旅行～

楽しみにしていた秋の旅行。

行先は〈氷見〉〈金沢〉〈高岡・砺波〉〈富山〉でした。

事業所ごとに分かれて、さあ出発!!



美味しい食事に
自然と笑顔がこぼれます。



見て、触れて、
楽しんで♪

気持ち良い天気の中、散策を。



最後に記念撮影。
楽しい一日になりました。





20歳を祝う会

令和6年1月15日(月)



今年度は4名の皆さんが20歳を迎えられました！
おめでとうございます。



ひだまり

小櫻 啓太郎 さん



ひだまり

湖本 早耶 さん



ひだまり

竹内 悠真 さん



なごみ

森本 凌多 さん



令和6年1月15日(月) ひだまり軽運動室にて「20歳を祝う会」を開催いたしました。スライドショーによる皆さんの紹介やひだまり利用者からのビデオレター、ひだまり職員からの生演奏などでお祝いしました♪盛大にお祝いして、とても温かい場となりました。



施設長より
記念品を
贈呈しました！



これからも、一緒に作業や活動を頑張っていきましょう！
そして、たくさんの幸せに満ちた日々でありますように…



保護者会長より
お祝い品を贈呈して
いただきました！

行事アラカルト

9月
6日

新湊ライオンズクラブ交流会

新湊ライオンズクラブの皆様と合同清掃活動を行う予定でしたが、あいにくの雨で中止となり、新湊ふれあい会館で一緒に食事会を行いました。美味しい昼食を味わいながら、交流を深めました。



12月
12日

ボランティア感謝祭・もちつき大会

富山県共同募金会から「NHK歳末たすけあい助成」を受け、ボランティア感謝祭ともちつき大会を行いました。

ボランティア感謝祭は、コロナ禍が明け、久しぶりのボランティアの皆様と利用者との食事会となりました。参加された七美ボランティアの皆様、利用者代表とともにたくさんの笑顔が見られ、利用者からボランティアの皆様へ日頃の感謝を込めて贈り物を贈呈しました。

また、ボランティア感謝祭に出席されない利用者の皆さんも、お弁当を美味しく楽しくいただきました。



もちつき大会は、七美ボランティアの皆さんと保護者会よりご協力をいただき、中央ホールで行いました。「よいしょー！」と力強い掛け声が、ホール一杯に響きわたっていました。



12月25日
グループホーム片口

12月26日
グループホーム七美

1月15日
グループホームさすな

グループホーム会食会

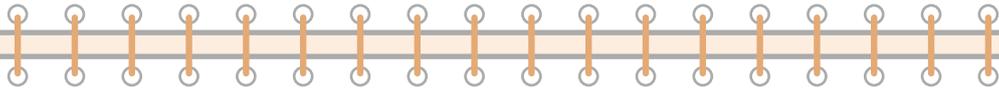
富山県共同募金会から「NHK歳末たすけあい助成」を受け、それぞれのグループホームで会食会を行いました。年末から年始にかけて行い、会食を通して1年の頑張りを労うとともに、新たな年への決意を胸に、楽しく過ごしました。



利用者の**権利**と**笑顔**を守るために

— 虐待防止委員会の取り組み —

平成24年より障害者の権利及び利益の擁護を目的とした「障害者虐待防止法」が施行され、令和4年度には虐待防止のための対策を検討する「虐待防止委員会」の設置が義務となりました。今回は、射水福祉会における虐待防止委員会の取り組みの中から、全体研修について紹介します。



「障害者虐待防止研修～皆で考え話し合おう～」

全職員を対象とした研修を4回にわけて実施しました。事例を通して「適切なケア・不適切なケア」についてグループで話し合い、各自発表することで、それぞれが虐待について“考え”、意見の共有を図る研修としました。興味深かったのは、職種や経験年数などの違いで、捉え方や感じ方が違っていったことです。見方を変えると、支援者の捉え方と利用者・保護者の捉え方も違う可能性が考えられます。支援者がどれだけ思いや考え、根拠を持って関わったとしても、関わりを受けた当事者や周囲の人が「不適切」と感じてしまうと、それは「虐待」と捉えられてしまいます。日々の言葉がけや対応の振り返り、話し合いを行うことの大切さを学びました。様々な専門職が集まり、意見を交換することで、気づきと学びを得ることができました。研修をきっかけに、職員同士が気軽に指摘し合える空気感が醸成されていけばよいなと感じました。



まとめ

虐待の要因は、職員の経験の乏しさや理解の欠如だけでなく、チーム力の欠如や労働環境の課題など、複合的です。まずは職員一人ひとりが自分自身の支援を振り返ることが大切です。そして、チームや組織が、話しやすく風通しが良い、そして働きやすい環境をつくることで、「虐待の芽」を摘むことができるのではと考えます。委員会には、啓発や研修の実施、指針を作っていく責務があります。また、万が一不適切なケアが発生した際は、検証と再発防止策の検討も必要となります。

今後とも利用者一人ひとりの権利と笑顔を守ることに取り組んでいきます。

あいネット通信♪



教育と福祉の講演会

あいネットいみずでは、障害に対する理解の促進を図るための普及啓発活動として、射水市立大門中学校2年生と教職員合わせて265名を対象に富山国際大学子ども育成学部の村上教授を講師にお招きして、12月12日に「ちがいを豊かにするための地域共生社会とは ～みんなは大門大島が資源（たから）、みんなで支援（ちから）～」の講演会を開催しました。また、手話通訳士の射水市役所地域福祉課・益塚麻里子さん、聴覚障害者協会・伊藤美香さんから「ありがとう」、「I love you」の手話も教わりました。生徒は「誰も完璧な人はいない。必ず短所がある。それを自分の力にかえる。」「言葉には形や味、温度がある。」などの感想を述べていました。



地域との交流

10月21日七美コミュニティセンターにおいて、「キッズサロンNANAMI」との交流行事「ハロウィンパーティー」に参加しました。カレーライスを食べ、ゲームやダンス、のじた輪踊りを楽しみました。

12月4日～8日には、障害者週間における活動の一環として、七美コミュニティセンターで事業所の紹介や利用者の作品を展示し、法人の取り組みや障害が



ある人の素敵な個性を知ってもらう機会としました。また、いみず苑きらめきで作った花苗とポン菓子を販売し、たくさんの方にご購入いただきました。ありがとうございました。

あいネットいみず（射水市障害者地域活動支援センター）

あいネットいみずでは、障害（身体・知的・精神）のある方やその関係者の方々の相談に応じ、必要な情報を提供します。

..... あいネットいみず(射水市七美727 いみず苑内)
 専用TEL (0766)86-8522 FAX 86-8530 Eメール info@inet-imizu.jp ホームページ <http://www.inet-imizu.jp>

カラフルスマイル

彩り豊かないみず苑の職員を紹介するコーナー！



- ①入社年 ②趣味 ③特技
- ④仕事で楽しい、嬉しいと感じる時
- ⑤いみず苑の好きな所
- ⑥皆さんに一言！

中島 豊
(きらめき)



- ①2007年（平成19年） ②さんぽ
- ③まわりをなごやかにすること
- ④利用者さんの笑顔がみられた時
- ⑤安心して仕事ができる
- ⑥笑顔が1番

番匠 麻子
(総務)



- ①2017年（平成30年） ②歩きに行くこと
- ③指の関節をはずせること
- ④利用者さんに覚えてもらえていること
- ⑤夕方、自販機前。1日が終わり…利用者さんが飲み物を飲んで休んでおられるところ。
- ⑥これからもよろしくお願いします。

保護者のつどい

「博紀が楽しく過ごすために」

坊田 直美 さん

博紀がいみず苑に通いだしてからもうすぐ丸3年になります。

我が家は富山市に住んでおり、博紀はしらとり支援学校を卒業しました。高等部2年生から始まった就業体験では市内の施設も体験し、私達は家の近くにある施設と迷いましたが、いみず苑での就業体験がとても楽しかったようで博紀自身が「いみず苑に行きたい。」と選び、いみず苑に通うことになりました。

この3年の間に苑ではコロナのクラスターがあり、我が家全員が感染し、苑自体も長期間休業することになって、長い間どこにも通えない期間がありました。私達は「友達の通っている他の施設に行く？」と聞きましたが、博紀は「いみず苑に行きたいです。」と通い続けることを選びました。やっと、苑が再開する日が決まったことを伝えた時の博紀は本当に嬉しそうでした。

博紀は生まれた時から体の大きな健康優良児でしたが、1歳半検診で発語が全くありませんでした。それで富山市保健所の遊戯教室に通っていましたが、毎回部屋から脱走ばかりしていました。その時に相談した先生の「周りの人達が言っている事、やっている事が理解できない

からつまらないんだよ。周りじゃなくて本人に合わせてあげたら楽しく続けられるよ。」という言葉は今でも時々思い出します。

博紀は20歳を過ぎ自閉傾向が強くなったり、いろいろな変化があったりもしましたが、毎日楽しく苑に通っています。これは全て職員の皆様が博紀の楽しく出来る事をさせてくださるからだと思っています。

この先の不安はありますが、今は博紀が毎日楽しく苑に通い続けられたらと思っています。これからもよろしくお願ひいたします。



坊田 博紀 さん



保護者会コラム

10月7日

「手をつなぐ育成会東海北陸大会愛知大会に参加して」

木本 健生

令和5年10月7日、第55回東海北陸大会愛知大会が刈谷市で開催されました。富山県からの出席者は、本人部会を含めて22名でした。当日は、朝早くからバスに乗って行きました。

式典では、前施設長代理の堺進さんが表彰されました。式典終了後、「どうする育成会」のテーマで中央情勢報告と「育成会を次の世代につなげていくために」のパネルディスカッション、また小ホールでは本人部会がありました。当日は大変勉強になりました。



能登半島地震

元旦に襲った能登半島地震。当日在苑していたのは、入所利用者28名、グループホーム七美利用者4名、グループホーム片口利用者2名でした。津波警報の発令を受け、グループホーム片口の利用者は片口小学校へ避難しました。入所利用者・グループホーム七美利用者においては勤務職員を含めて全員が管理棟へ避難しました。当日はそのまま管理棟職員室にて食事をとり、会議室とミーティングルームに男女を分けて睡眠をとりました。翌2日、津波警報・注意報解除に伴い、各棟へ戻りました。

1月5日には、当苑からの救援物資に加え、新生苑・かたかご苑・めひの野園からの救援物資を、北陸地区知的障害者福祉協会会長（雄谷良成氏）が運営されている社会福祉法人佛子園の施設であるSHARE金沢に届けました。その後、同施設を拠点として、被災地の必要な施設等へ届けられたとのことです。



ボランティア ありがとうございました

- 新湊理容師会（理髪）
- 訪問理美容サービス「フロール」(美容)
- 大島赤十字奉仕団（シーツ交換）
- 新湊ボランティア連絡協議会 塚原地区
放生津地区 新湊地区 作道地区 片口地区
堀岡地区 本江地区
のみなさん（シーツ交換）
- 新湊中央ロータリークラブ（いもほり）

（敬称略）

ご寄付・ご寄贈 ありがとうございました

- 新湊ボランティア連絡協議会
- 七美花と緑の銀行
- 公益社団法人 富山県善意銀行
- 一般社団法人 富山県食品産業協会
- 木村加代子
- 片口社会福祉協議会
- 富山県共同募金会
- 富山県「北日本放送」社会福祉事業基金
- 高瀬伸二
- 田中智浩
- やの園

（順不同・敬称略）

苑の行事予定

令和6年1月現在

4月 入所式、花見、健康診断

5月 避難訓練

当法人における苦情相談受付窓口

当法人における虐待防止に関する相談窓口

窓口担当者 総務課長、サービス管理責任者

ご利用期間 8:30~17:15
(日曜、祭日、年末年始を除く)

T E L 0766-86-1126

F A X 0766-86-1136

※担当者が不在の時は事業所事務所までお申し出ください。

編集後記

元旦に襲った大地震。穏やかな正月が一転し、不安や心配が溢れる年明けとなってしまいました。翌日には航空機の追突事故。航空機の乗員・乗客が全員脱出できたのは、乗員による日頃の訓練のたまものであるとの報道を目にしました。

災害はいつどのような形で私たちに襲いかかってくるかわかりません。射水福祉会においても、定期的な避難訓練やマニュアル等がありますが、いざその瞬間に立ち会えると、混乱やパニックに陥ってしまうことを身をもって実感しました。緊急時の対応について議論や意思統一がなされているか、避難訓練では緊張感や危機感を持って経験を積み重ねているか、改めて見つめ直す必要があるのではと感じました。

大きな不安と課題を残す年始となりました。有事の際に後悔の残らない行動がとれるよう、今年は防災意識の向上を図る一年にしたいと思います。

（真田章太郎 記）